

魚病診断結果

田中真二・宮本敦史・羽生和弘・栗山 功・田路拓人・清水康弘

目的

県内の養殖魚等の魚病発生状況を把握するとともに、その対策指導を行い、魚病被害の軽減を図る。

方法

平成29年4月～平成30年3月に水産研究所、同尾鷲水産研究室および同鈴鹿水産研究室に診断依頼のあった魚介類について、病気の診断を行った。

結果

総診断件数は351件（海産魚348件、淡水魚3件）で、昨年度の447件より少なかったものの、過去10年の平均診断件数280件より71件多かった。

魚種、魚病別の診断結果を表1～6に示す。

マダイでは、昨年度に続き、高水温期にマダイリドウイルス病が多発した。同じくウイルス病であるウイルス性出血性敗血症が平成29年4月と平成30年2月に散発的に確認された。細菌病ではエピテリオシスチス病とエドワジエラ症、寄生虫病では心臓ヘネガヤ症とビバギナ症の診断件数がそれぞれ多かった。

シマアジでは、昨年度と同様、夏季～秋季にビブリオ病とレンサ球菌症が多かった。レンサ球菌症の多くは*Lactococcus garvieae* I型（α I）によるものであったが、秋季には一部で*L. garvieae* II型（α II）による症例も認められた。

ハギ類では、例年同様、夏季を中心にビブリオ病やレンサ球菌症（主にβ）、ミコバクテリア症が発生した。

マハタでは、7～12月にウイルス性神経壊死症が発生し、マハタでは被害の大きい事例が認められた。また、当県のマハタでは平成27年度から発生が確認されているミコバクテリア症が、今年度も3件確認された。

ヒラメでは、マダイと同じく4月にウイルス性出血性敗血症の発生が確認された。

その他の魚種では、クロマグロで例年同様、脊椎骨骨折が多発した。

主要病原菌の薬剤感受性試験結果を表7に示す。エドワジエラ症およびレンサ球菌症（α I、β）原因菌の感受性は概ね良好であった。一方、レンサ球菌症（α II）およびビブリオ病原菌では薬剤耐性菌がやや多かった。

以上の魚病診断とは別に、マダイで15件、マハタで5件、

シマアジで4件、アユで2件の計26件の健康診断依頼があった。コイヘルペスウイルス病については、2件の診断依頼があり、うち1件（ニシキゴイの死亡事例）で陽性であった。また、ヒラメの放流用種苗のクドア症（*Kudoa septempunctata*）検査を2件行い、いずれも陰性であった。

表1. マダイの診断結果

病 名	年齢	月 別 診 断 件 数												計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
マダイリドウイルス病	0				5	14	2	5								26
ウイルス性出血性敗血症	0														1	1
	1							3	1						1	3
	2	1														1
エピテリオシスチス病	0	3	2		1	1	3		1						1	12
滑走細菌症	0	1														1
ビブリオ病	0					1										1
エドワジエラ症	0					9	1	4	5							19
	1							1	1						2	4
レンサ球菌症(β)	0									1						1
	2							1								1
白点病	0									1	1					2
トリコジナ症	0	1	2					1								2
	1														1	1
心臓ヘネガヤ症	0				4	8	5	4								21
粘液胞子虫性やせ病	0									6						6
ラモディシスチス症	0	1	2													3
ビバギナ症	0								3	2	3	2	2	9	21	
	1	1	1	1											2	5
住血吸虫症	0							1		1	1	1				4
	1		2													2
タカノ頭頭虫症	0							2	1						1	2
	1							2	2	1						5
不明	0				1	5				4					1	11
	1														1	1
	2	1														1
計		11	7	3	11	41	21	22	20	4	3	11	15	169		

表2. シマアジの診断結果

病 名	年齢	月 別 診 断 件 数												計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
ビブリオ病	0				2	1										3
	1				1	1										2
	2		1		1	1	1	1	1							5
レンサ球菌症(α I)	1		2	1	1	2	1	1								8
	2		1		1	2	2									6
レンサ球菌症(α II)	1								1		1					2
	2									2	1					3
カサガサ症	1									1						1
	2										3	3				6
吸虫性旋回病	0						1									1
皮膚カリクシス症	2					2					3	1				6
紅ハネアザ症	2									1						1
削瘦	2									1						1
不明	1		1				1									2
計		0	2	3	7	8	5	8	8	6	0	0	0	0	47	

表3. ハギ類の診断結果

病名	月別診断件数													計
	年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(カワハギ)														
ヒブリア病	1			1	2									3
レン球菌症(β)	1			1	1									2
レン球菌症(非α,β)	1			2	2									5
ミョウケリア症	1	1												2
イグチホト症	1			1										1
脳粘液胞子虫症	1	1												2
粘液胞子虫性やせ病	1	1		1	1									4
ベニカス症	1					1								2
カカク頭虫症	1	1												2
バンドリグによるストレス	0							1						1
計		4	0	6	9	0	0	0	1	0	0	0	0	20
(ウマヅラハギ)														
ヒブリア病	1					2	1							4
レン球菌症(β)	1	1	1	1	1									5
ミョウケリア症	1					1								2
未同定細菌感染症	1	1												2
心臓カクア症	2					1								3
エラバ症	1	1												2
計		3	1	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	11

表4. ハタ類の診断結果

病名	月別診断件数													計
	年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(マハタ)														
ウイルス性神経壊死症	0								3	2				5
滑走細菌症	1				1	1	3							5
ヒブリア病	0							1						1
ミョウケリア症	2					3								5
アムルウジニウム症	0							1						1
ホバネア症	0								2					2
不明	0				1									1
削瘦	0							1						1
薬浴によるストレス	3													3
不明	2							1						3
不明	0											1		1
不明	1					1								2
計		1	0	0	1	3	6	3	8	2	0	1	0	25
(クエ)														
ウイルス性神経壊死症	1					1					1			3
ヒブリア病	1					1								2
ベネア症	1	1												2
計		1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	4

表5. ヒラメの診断結果

病名	月別診断件数													計
	年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ウイルス性出血性敗血症	0	2												2
滑走細菌症	0	1		1								1		3
エラバ症	0										1			1
不明	1					1								2
スクア症	1					2								3
イグチホト症	0	2						1			1			4
不明	0					1								1
計		5	0	1	4	0	0	0	1	0	1	2	0	14

表6. その他の魚種の診断結果

病名	月別診断件数													計
	年齢	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(イサキ)														
細菌性肉芽腫症						1								1
不明	1						1							2
イサキ小計		0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
(イシダイ)														
マカイトウイルス病	1						1							2
ヒブリア病	1						1	1						3
イシダイ小計		0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
(ブリ)														
ヒブリア病	0						1							1
レン球菌症(α II)	0								1					1
ミョウケリア症	1							1						2
ベネア症	0									1				1
ベネア症	0					1								1
鯉カラス症	0					1								1
不明	0						1							1
ブリ小計		0	0	0	3	4	0	1	1	0	0	0	0	9
(カンパチ)														
ヒブリア病	0								1					1
不明	2								1					3
カンパチ小計		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
(マアジ)														
ヒブリア病	1						2	2						5
レン球菌症(α I)	0		1				1	2						4
不明	1						1			1				3
カカク頭虫症	0								1					1
マアジ小計		0	1	0	1	3	5	1	0	0	0	0	0	11
(クロマグロ)														
マカイトウイルス病	1								1					2
滑走細菌症	0											1		1
住血吸虫症	0											2		2
脊椎骨骨折	0						1					2	2	5
不明	1									1				2
クロマグロ小計		0	0	0	0	1	0	2	0	0	5	2	2	12
(トラフグ)														
滑走細菌症	1							1						2
トリコナ症	不明							1						1
環境障害	0								1					1
トラフグ小計		0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
(マンボウ)														
滑走細菌症	1							1						2
マンボウ小計		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(ニジマス:海面)														
環境障害	0											1		1
ニジマス小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
(メガイアワビ)														
カネアキイト赤潮	不明								1					1
ヒブリア病	1								1					2
メガイアワビ小計		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
(クロアワビ)														
滑走細菌症	1							1						2
ヒブリア病	1							1						2
環境障害	2									1				3
不明	1	1									1			3
クロアワビ小計		1	0	2	0	1	0	0	0	3	0	0	0	7
(エゾアワビ)														
不明	1							1						2
エゾアワビ小計		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
(マガキ)														
痩せ	1													1
マガキ小計		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(イセエビ)														
不明	不明											1		1
イセエビ小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
(アユ)														
冷水病	0	1												1
不明	0	1							1					2
アユ小計		2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
合計		3	3	5	7	16	6	5	1	4	6	2	3	61

表7. 主要病原細菌の薬剤感受性試験結果

エドワジエラ症 原因菌 (マダイ)					
薬 剤 名	菌 株 数				計
	-	+	++	+++	
塩酸オキシテトラサイクリン				7	7
ホスホマイシン				3	3

α 溶血性レンサ球菌症 原因菌 (α I)					
薬 剤 名	菌 株 数				計
	-	+	++	+++	
エリスロマイシン	1	1		24	26
塩酸オキシテトラサイクリン	1			24	25
フロルフェニコール				25	25
チアンフェニコール	1			14	15
塩酸リンコマイシン			1	3	4

α 溶血性レンサ球菌症 原因菌 (α II)					
薬 剤 名	菌 株 数				計
	-	+	++	+++	
エリスロマイシン		3	1	6	10
塩酸オキシテトラサイクリン				10	10
フロルフェニコール				9	9
チアンフェニコール				8	8
塩酸リンコマイシン	3			1	4
アンピシリン		2		4	6

β 溶血性レンサ球菌症 原因菌					
薬 剤 名	菌 株 数				計
	-	+	++	+++	
エリスロマイシン		1		7	8
塩酸オキシテトラサイクリン				7	7
フロルフェニコール				2	2

ビブリオ病 原因菌					
薬 剤 名	菌 株 数				計
	-	+	++	+++	
塩酸オキシテトラサイクリン	10			15	25
オキシリン酸		1	3		4
エリスロマイシン	1	7	1		9
フロルフェニコール				14	14
チアンフェニコール	2			18	20
スルファモノメトキシシン	2				2